

夢にときめく 1 / 2 成人式

～働くことについて考えよう～

教科・領域 総合的な学習の時間

周南市立勝間小学校 4 学年

キャリア教育の観点

保護者や地域の方々から、職業についての話をしていただくことで、自分の将来に目を向け、興味のある仕事について、情報を集めます。そして、1 / 2 成人式で、まとめたことを、一人ひとり発表します。この活動を通して、夢をもち、働くことの大切さについて、考えさせる活動です。

【自己理解・自己管理能力】【キャリアプランニング能力】

仕事について知ろう

児童は、実際に仕事をしている3人の方から話を聞いた。

市内でケーキ店を営んでおられる方から、ケーキ店の仕事の内容や、ケーキ店を開くまでの修行のことについての話を聞き、仕事に対する興味をもち始めた。看護師をされている保護者から、看護師への道筋、仕事内容についての話を聞いたり、実際に着ている服や持ち物を見せてもらったりした。児童は、その仕事の大変さに驚き、患者さんの健康、命を一番に考えて働いていることに感心し、仕事に対する情熱の大切さについて知ることとなった。また、家や文化財の防虫・防かびの仕事をしている保護者から、資格について、きまりを守り、何事にも一生懸命に取り組むことの大事さについての話があり、児童は、今から学んでいくことがあることを知った。

児童は、3人の「仕事」についての話を聞き、仕事の大変さ、仕事をしている人への尊敬の念を、もつことができるようになり、もっと仕事について学びたいという思いを強くもつようになった。



家族はどんな仕事をしているのだろう

仕事について興味をもった児童は、次に、「自分の家族はどんな仕事をしているのだろう」という疑問をもち、両親に仕事についてのインタビューをし、仕事新聞にまとめることにした。お父さん、お母さんの仕事についての話を聞きながら、仕事は、自分に合った仕事をしていくことが大切ということを理解し、お父さん、お母さんが家族のために働いていることに気付くことができた。また、児童自身も、がんばっていきたいという思いをもつことができた。

仕事新聞	四年一組
お父さんのお仕事は電車を作る人です。電車を作る人は大変な仕事をしています。お父さんはお母さんと一緒に働いていて、お父さんはお母さんよりも早く仕事を終わらせて、お母さんに残った仕事を手伝っています。お父さんはお母さんよりも早く仕事を終わらせて、お母さんに残った仕事を手伝っています。お父さんはお母さんよりも早く仕事を終わらせて、お母さんに残った仕事を手伝っています。	お父さんのお仕事は電車を作る人です。電車を作る人は大変な仕事をしています。お父さんはお母さんと一緒に働いていて、お父さんはお母さんよりも早く仕事を終わらせて、お母さんに残った仕事を手伝っています。お父さんはお母さんよりも早く仕事を終わらせて、お母さんに残った仕事を手伝っています。お父さんはお母さんよりも早く仕事を終わらせて、お母さんに残った仕事を手伝っています。

夢の仕事調べよう

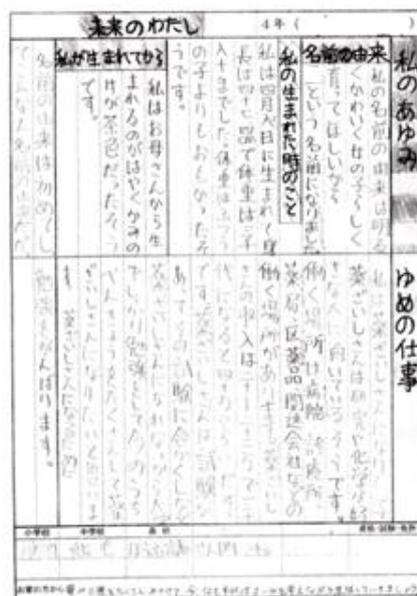
保護者の話を聞いたり、自分の家族の仕事についてインタビューしたりして、興味がわいた仕事や、自分が将来就きたい仕事について、インターネットや図書資料から、具体的な仕事内容や、その仕事に必要な能力、資格について、どんな人が向いているのかについて調べることができた。調べながら、児童は、自分の抱いた夢を、少しずつ確かなものへと考えていくことができていた。

夢にときめく、1 / 2 成人式

1 / 2 成人式では、保護者を学校に招き、自分の今までの歩み、そして、今の将来の夢の仕事について、発表した。

この時期の児童は、たくさんの人の前で、自分の夢を発表するという事は、恥ずかしがることが多いが、そのような様子もなく、堂々と自分の夢について、語る児童の姿を見ることができた。発表後の児童は、今までよりも自信に満ち溢れている様子であった。

保護者も、子どもの成長を見ることができ、とても有意義な時間となった。



考察・課題

1 / 2 成人式を終えて、保護者から児童へ、「夢に向かってがんばろう」「これからもずっと応援しています」などという温かいメッセージが届いた。メッセージを読んだ児童は、自分の夢をより確かなものとし、家族が応援してくれているという心強さを感じ、夢に向かって自信をもって毎日を過ごしている。

課題としては、1 / 2 成人式ということで、保護者に学校に来てもらったが、都合により、来られないも保護者もいた。児童は、やはり見てもらいたかったはずである。その児童への配慮が必要になってくると思う。

全体計画との関連

本事例により、本校のキャリア教育全体計画の中の、「身の回りにはさまざまな仕事がたくさんあることに気づき、そこで働いている人の思いや願いを探ろうとする子ども」「得意なことや好きなことを生かして将来なりたい自分の姿を描いたり、目標をもったりすることを通して、できることをやり尽くそうとする子ども」という2つのめざす子ども像を達成することができたと考える。

また、総合的な学習の時間として、目標となっている、自ら課題を見つけ、解決していく学び方を身につけ、新たな自分の生き方を見出すことができる活動となった。